

安全で活力ある 備後地域の実現を目指して

国土交通省 中国地方整備局
福山河川国道事務所 所長 梅林 幾彦



福山河川国道事務所が管轄する道路の位置図



市茂平(もびら)から福山市赤坂町(あかさかちょう)に至る延長約16.5kmの道路であり、自動車専用道路として計画しています。

当該区間の国道2号は、朝夕を中心に著しい渋滞が発生している状況であり、福山市内の交通の渋滞緩和、交通の安全性向上、物流機能の強化や観光振興、山陽自動車道通行止め時の代替機能や、広島県東部地域の物流・産業拠点である重要港湾福山港との連携など、福山市をはじめ備後地域の社会経済活動を支える道路として地域から早期整備を期待されています。

このうち、福山市瀬戸町(せとちょう)から福山市赤坂町(あかさかちょう)に至る約3.3km区間の整備を進めており、用地買収の進捗を図るとともに、令和元年度から工事に着手しています。現在、改良工事・橋梁上下部工事などを推進しており、さらに関連事業として広島県が整備を進めている福山沼隈(ふくやまぬま)道路と一体となって効果を発揮するように、関係機関と連携しながら早期整備を目指し事業を推進しています。

【インフラ DX の取り組み】

国土交通省では、インフラ分野に

■はじめに

福山河川国道事務所は、広島県東部に位置し、芦田川水系の改修、環境整備、維持管理並びに国道2号などの改築、維持管理を行っています。備後(びんご)と呼ばれる地域にあり、東は岡山県境に接し、南に瀬戸内海を望む管内は、広島県第2の都市である福山(ふくやま)市を中心に尾道(おのみち)市、三原(みはら)市、府中(ふちゅう)市、世羅(せら)町、神石高原(じんせきこうげん)町の4市2町で構成され、人口約74万人、面積約2,130km²を有しています。

当事務所は、大正8年の芦田川における大洪水を契機に河川の直轄改修事業が開始され、大正13年に芦田川改修事務所として発足しました。昭和16年からは、国道2号の直轄改良工事を開始し、これまでに、芦田川河口堰、山陽自動車道、生口島(いくちじま)道路(瀬戸内しまなみ海道の一部)、中国横断道尾道松江線(中国やまなみ街道の一部)区間などの建設も行ってきました。

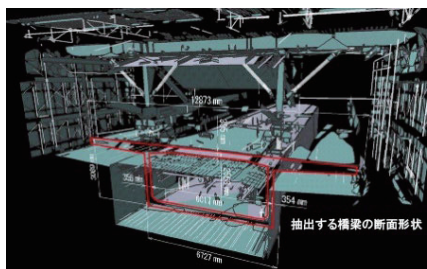
■主な事業の概要

〔改築事業〕

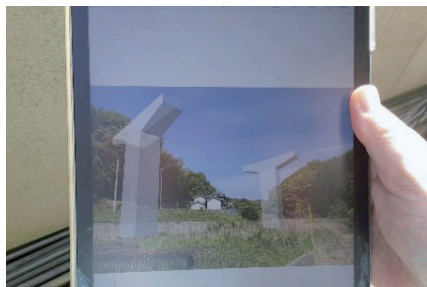
福山道路は、岡山県笠岡(かさおか)

においてデータとデジタル技術を活用し、社会経済状況の変化に対応した社会資本整備や公共サービスを提供するとともに、建設現場の生産性向上を図りつつ、建設業界の働き方を改革するインフラ DX の推進を行っています。

当事務所でも、ICT 活用工事に取り組むとともに、出来形計測に 3D レーザースキャナーで計測した 3 次元点群データから施工中の橋梁断面を自動抽出し、指定した箇所が出来形寸法を自動検出する取り組みや、工事説明に MR 技術を活用するなどのインフラ DX の取り組みを推進しています。



点群データを取得し出来形寸法を自動計測



MR 技術を活用した地元説明

〔道路管理関係〕

道路を常に良好な状態に維持するため、道路パトロールの実施、路面や構造物の補修などの維持管理を行っています。

また、交通事故が多発する交差点の改良や、令和 3 年度通学路合同点検で要対策箇所に指定された箇所の交通安全施設の整備などを行っています。



福山道路 地頭分地区

特に、岡山県側で整備が進められている笠岡バイパスなどが令和 7 年度に開通予定であることから、県境付近に位置する「大門(だいもん)駅南交差点」などにおいて交通量の増加や交差点内の危険度が高まると想定されるため、交差点改良を行っています。

この他、地震時に緊急輸送道路の通行確保や良好な都市景観の形成などを目的とした無電柱化対策も進めており、大型商業施設などが立ち並ぶ福山市中心市街地において電線共同溝の整備や、自転車走行空間整備を計画されている福山市地域では、自転車利用の多い区間において、自転車道など自転車利用環境の整備を推進しています。



自転車道の整備

さらに、福山市内の一般国道 2 号の沿線では、福山市のばら植樹支援事業(ばらの苗木提供)をきっかけとし、2025 年に開催される世界バラ会議福山大会を盛り上げられるよう、福山市と協力しながら VSP(ボランティア・サポート・プログラム)活動を進めていきます。



植樹帯のばら

■おわりに

福山河川国道事務所では、備後地域が安全で安心して暮らせる地域となるよう、また地域の資源やポテンシャルを活かして活力ある地域となるよう、地域のニーズや意見を伺いながら、関係する自治体や業界の皆様とも連携して引き続き取り組みを進めて参ります。